

2025
vol.64
no. 1

写真測量とリモートセンシング

目次

〈巻頭言〉 科学技術の発展と研究のグローバル化	山本佳世子	1
〈カメラアイ〉 森林計測におけるレーザ計測機材の比較 高市善幸, 吉田夏樹, 和田のどか, 中川諒穂		2
〈海外とびある記〉 Participating report: 45 th Asian Conference on Remote Sensing (ACRS 2024) in Sri Lanka D.A. Samitha Daranagama		4
〈海外とびある記〉 The 3 rd One Health One World (OHOW) 2024 International Symposium in Malaysia Arliandy Pratama Arbad		7
〈活動報告〉 G 空間 EXPO2025国土地理院主催セミナー 「新たな標高基準と3次元地図への期待」報告 野口真弓, 古屋智秋, 石塚麻奈		10
〈活動報告〉 GIS Day in 北海道2024 ～地理空間情報でつなぐ農業, インフラの未来～ 開催報告	及川環奈	15
〈表紙説明〉 表紙解説 先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4)の観測データ 高橋陪夫		19
〈文献抄録〉 Python で学ぶ衛星データ解析基礎——環境変化を定量的に把握しよう 山本浩万		20
〈文献抄録〉 3D Gaussian Splatting for Real-Time Radiance Field Rendering 中川雅史		21
〈会のうごき〉		23
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		29

表紙説明：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4: Advanced Land Observing Satellite-4) を、2024年7月1日12時6分42秒(日本時間)に種子島宇宙センターからH3ロケット3号機により打ち上げた。打ち上げ後、衛星の初期機能確認運用(衛星システム及びミッション機器が所定の機能・性能を有していることの確認)を行い、現在(2025年2月時点)は搭載するLバンド合成開口レーダ「PALSAR-3」の標準プロダクトの初期校正検証を実施している。本表紙は、能登半島全域を初期校正検証期間中の2024年10月14日に取得したデータである(観測モード:高分解能3mモード・観測幅200km・2偏波(HH, HV)、R/G/BにHH偏波/HV偏波/HH偏波を割り当ててカラー合成)。ALOS-4はALOS-2搭載のPALSAR-2の高分解能(3m)を維持しつつ、観測幅を200kmへ向上させている。

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧ください。

<https://www.jsprs.jp>

E-mail: office-jsprs@jsprs.jp

編集委員

委員長	織田和夫	(アジア航測(株))
委員	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
	木寺幸司	(南海測量設計(株))
	窪田諭	(関西大学)
	白井直樹	(朝日航洋(株))
	高橋元気	(国際航業(株))
	高橋陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学)
	沼尻治樹	(日本測量協会)
	沼田洋一	(アジア航測(株))
	野口真弓	(国土地理院)
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京大学)
	政春尋志	(元 東洋大学)
	吉野邦彦	(東京大学)
	李勇鶴	((株)パスコ)
	力丸厚	(長岡技術科学大学)